



独立行政法人 国立病院機構
村山医療センター

Vol.41

平成 31 年 2 月発行

発行者 院長 朝妻 孝仁

医療連携通信

〒208-0011 東京都武蔵村山市学園 2-37-1 TEL 042-561-1221 FAX 042-564-2210 <http://www.murayama-hosp.jp/>

31年春 新病棟が開棟します。



目 次

- ◇ 新年の挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- ◇ 東京都北多摩西部二次医療圏
地域リハビリテーション支援センター事業 地域支援講座報告・・・・・・・・ 3
移乗動作の介助方法～楽な介助のコツと原理～
- ◇ 北多摩西部医療圏
地域リハビリテーション支援センター事業 地域支援講座報告・・・・・・・・ 4
～身体に合わせた車椅子の調整と入浴に関する基礎知識とチェックポイント～
- ◇ 新任医師の挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- ◇ ゴールデンウィーク中の診療体制についてお知らせ・・・・・・・・・・・・・ 6
- ◇ 村山医療センターへの外来受診方法のお知らせ・・・・・・・・・・・・・ 7
- ◇ 外来診療担当医師・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

新年の挨拶

院長 朝妻 孝仁



新年明けましておめでとうございます。本年もよろしく
お願い申し上げます。

村山医療センターは今年、変貌を遂げます。一昨年始ま
った新病棟の建設が最終段階に来ました。当初は昨年12月
に完成予定でしたが、工程に遅れが生じたため本年3月上旬
に完成の運びとなり、現時点で3月21日に引越しを予定して
います。

さて新病棟は、病床数は従来と変わらず303床ですが、西
病棟と東病棟を一つの建物に統合し、地上6階建てになり
ます。1階（第1病棟）は回復期リハビリ病棟、2階（第2病棟）が運動器リハビリ病棟（従
来の障害者病棟）、3階（第3病棟）が地域包括ケア病棟で、4階から6階（第4～6病棟）が
一般病棟です。HCUは第6病棟に配置しました。新病棟の特徴は脊髄損傷や脳血管障害の
患者さんが、快適にリハビリテーションを行うことができるように配慮した点です。す
なわち車椅子、あるいは歩行器での移動がスムーズに行えるよう、廊下の幅を従来の
2.5mから4.7mと大幅に広げ、トイレ、浴室、およびベッド周囲にも十分なスペースがあ
るよう設計されています。また、主に脊髄損傷の患者さんが入院する第2病棟には各病
室に特別な空調装置を設置し、快適な入院生活を送っていただけるよう工夫しました。
これは新病棟設計の段階で訪問した九州にある総合脊損センターの取り組みを参考にし
ました。個室の数も従来は 19室であったのに対して、新病棟では63室と大幅に増やし
ました。さらに1階には収容人員140名の地域医療研修室を設けました。ここでは地域連
携関連会議、各種セミナー、市民公開講座等の開催が可能となります。

当院は従来より骨運動器疾患、すなわち整形外科、およびリハビリテーション科を中
心として診療を行ってきました。手術件数が全国で1,2位を誇っている脊椎・脊髄外科に
加えて、最近では下肢関節（膝関節、股関節）、および上肢（手、肘関節）の分野でも実
績を伸ばしています。さらに内科、外科でも常勤の専門医が診療にあたっています。当
院には地域包括ケア病棟がありますので、在宅の患者さんのレスパイト入院、リハビリ
目的の入院にも対応しています。これからも地域に根ざした医療を住民の皆様に提供し
ていきたいと考えています。「患者さんの視点に立ち、良質で高度な医療を提供します。」
という理念のもと、今後ともスタッフ一同努力してまいりますので、今後ともよろしく
お願い申し上げます。

東京都北多摩西部二次医療圏

地域リハビリテーション支援センター事業 地域支援講座報告

移乗動作の介助方法～楽な介助のコツと原理～

平成30年11月29日（木）開催

理学療法士 山本 明央

今回の研修は、東京都北多摩西部二次医療圏地域リハビリテーション支援センターの事業として開催されました。場所は当院、理学療法室を会場とし、18時30分から20時00分まで、「移乗動作の介助方法～楽な介助のコツと原理～」をテーマとして実施しました。

当日は、福祉関係者、医療関係者、行政関係者等、50余名の方に参加して頂きました。研修は、開会の挨拶から始まり、30分の講義の後に、40分の実技演習を行いました。研修内容は講義で起き上がり、立ち上がり、移乗のポイントを説明し、実技演習で参加者の方に実際に練習してもらうという形式をとりました。

実技演習では参加者を1グループ5名程度に分け、1グループに2名の理学療法士がついて実技を指導しました。参加者の方は日々、現場で介助をされている方がほとんどで実技も熱心に参加されていました。また、グループ毎に質疑応答の時間を設けたところ、現場で困っている介助の事例等の質問が様々出され、それに対して意見交換が活発に行われていました。

アンケートでは、「少人数で実技練習が多くできて良かった」「丁寧に教えて頂けて良かった」等の意見を多く頂き、参加者の方にとっても実りのある研修会になったようです。

今後の研修会への要望も頂いており、地域の皆様にとって更に役に立つ研修会となるようにしていきたいと思っております。



北多摩西部医療圏

地域リハビリテーション支援センター事業 地域支援講座報告

～身体に合わせた車椅子の調整と入浴に関する基礎知識とチェックポイント～

平成 30 年 12 月 6 日 (木) 開催

理学療法士 小野 聡子 作業療法士 松永 祥子

東京都北多摩西部二次医療圏地域リハビリテーション支援センターの事業として 12 月 6 日 (木) に「車椅子の機能とシーティング、入浴介助の安全な福祉用具の使い方」をテーマとして研修を行いました。

当日は当院理学療法室で 18 時 00 分から約 1 時間 30 分、福祉関係者 10 名の参加で行いました。

まず車椅子の機能とシーティングについての講義を 15 分程度行い、残り 20 分を 2～3 名 1 グループの計 4 グループに分け車椅子の実技演習を行いました。車椅子の操作の仕方や実際に車椅子に座る側と介助する側の体験をしてもらいました。次に入浴介助の安全な福祉用具の使い方についての講義を 15 分程度行い、残り 15 分を 5 名 1 グループの計 2 グループに分かれて、グループワークをしてもらいました。今回は「安全確認トレーニング」より自宅入浴場面の絵カードをみてもらい、そこにはどんな危険が潜んでいるか、使用できそうな福祉用具や安全対策についてグループごとにディスカッションしてもらい、最後に発表してもらいました。残りの時間で質疑応答を行いました。終了時に提出してもらったアンケートによると「とてもわかりやすかった」、「具体的な説明があつてよかった」、「入浴に関して再確認する機会となった」、「車椅子の種類・大きさ・クッション等、実際に座ってみて体験できた」等の意見や「時間が短く、もっとたくさん学びたかった」、「疾患など具体的な例を示して説明してほしい」等の要望もありました。

本研修は盛況のうちに終わることが出来ました。

今回のアンケートや研修の反省を基に次年度はさらに質の高い研修を計画していくつもりです。多くの皆様のご参加をお待ちしております。



新任医師の挨拶



整形外科医師 大木 有佑

10月から村山に赴任いたしました、大木有佑と申します。

9月までは静岡市立清水病院にて勤務しておりました。

膝関節を中心に、股関節、外傷など幅広く診察させていただいております。

整形外科としては5年目であり、まだまだ若輩者ではありますが、少しでも皆様のお役に立てるように日々努力してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



整形外科医師 片山 正典

2018年12月より当院に配属となりました肩山…ではなく、片山です。

肩を専門としております。

当院は日本でも有数の背骨のメッカです。首からくる不調だろうと当院にかかれても、実は肩が原因だった、ということも多く耳にします。

「首だと思ってきたけど、肩のせいといわれた…どうしたらいいんだろう」

そんな時はどうぞそのまま当院で。

肩は日々動かす関節で、しかも複雑なつくりになっているため、治るまでは非常に長い時間がかかることも多い、手術をしなくても、長くお付き合いすることの多い場所です。当院は大勢のみなさまがお越しくださる病院のため、なかなかおひとりに費やすことのできる時間に限りはありますが、せっかくお越しくくださったのですから、ご本人、ご家族にわかりやすくお話しし、最後まで、ここにきてよかったといわれる医療の提供を心掛けております。

なお、今後は外来リハビリ、関節鏡手術なども取り入れる予定で、鋭意準備をしております。どうぞよろしくお願いいたします。

ゴールデンウィーク中の診療体制についてお知らせ

本年のゴールデンウィーク中の診療体制については以下の通りになります。

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
					4/26 通常通り	4/27 休診
4/28 休診	4/29 昭和の日 通常通り	4/30 国民の休日 通常通り	5/1 新天皇即位 通常通り	5/2 国民の休日 休診	5/3 憲法記念日 休診	5/4 みどりの日 休診
5/5 こどもの日 休診	5/6 振替休日 休診	5/7 通常通り				

今年のゴールデンウィークは10連休になる予定ですが、
当院は4月29日から5月1日までは通常通りに外来も病棟も手術室も稼働しております。予約された患者さんも初診の患者さんも、いつものように診察いたしますのでご安心ください。

※院外薬局につきましては、休業となる所もありますのでご注意ください。

不明な点、お問い合わせ
独立行政法人 国立病院機構
村山医療センター
042-561-1221 (代表)



村山医療センターへの外来受診方法のお知らせ

専門の医師への受診がスムーズにできるよう、紹介患者さん専用の「地域医療連携枠」をご用意しています

このような時にご活用ください

- ・受診の診療科(特に脊椎疾患・関節疾患など)が特定している。
- ・受診希望日時を決定したい。(予約なしの受診に比べて、待ち時間が少ないのでぜひご利用ください)

1.
FAXで
お申込み
ください

【地域医療連携係 FAX】

042-561-2547

※受診依頼書にご記入の上、貴院の情報提供書とともにFAXでお送りください

2.
外来予約日
の決定

■受診依頼書の内容を確認いたします
■診療科・受診希望日等をもとに、受診日時を決定いたします
(予約状況によっては、希望日時のご希望にそえない場合もあります)

3.
予約完了の
お知らせ

■予約通知書をFAXいたします
■予約通知書は、予約日時・当日お持ちいただくもの等をお知らせする用紙です。患者さんへお渡しください。

4.
予約日の
受診

■お返事は郵送いたします

独立行政法人 国立病院機構 村山医療センター
直通TEL:042-561-2535(平日 月～金 8:30～16:30)
直通FAX:042-561-2547

外 来 診 療 担 当 医 師

独立行政法人国立病院機構 村山医療センター

平成31年2月1日現在

■ 一 般 外 来

※受付時間 (初診：8時30分～11時まで)
再診：8時30分～12時まで)

診療科等		月	火	水	木	金	備 考	
内 科		片 寄	岡 田	片 寄	岡 田	岡 田		
外 科		大 石	飯 野	松 岡	飯 野	大 石		
整形 外科	再 診	脊 椎	○朝 妻 ○竹 光 田 原	◎谷 戸 ◎藤 吉 加 藤(貴) 松 林	○○金 子 山 根	○○許 斐 矢 内	◎脊髄損傷 ○側弯 脊椎・脊髄 (頸椎・胸椎・腰椎)	
		関 節	清 水		大 木	吉 原	笹 崎	股・膝関節・下肢
		手	加 藤(直)		加 藤(直)			手指・上肢
	一 般		片 山					
初診		交替制						
リハビリテーション科		富 岡	植 村	竹 内		交替制(※) (第4・5金は休診)	※第1金…竹内 第2金…植村 第3金…富岡	
歯 科		宮 本	宮 本	宮 本	宮 本	宮 本	予約制	

■ 専 門 外 来 (全 て 予 約 の み)

診療科等	月	火	水	木	金	備 考
内科リウマチ				片 寄 (13:00~)		予約制
側 弯			金 子 (13:30~15時)	金 子 (第2・4週 13:30~16時)		予約制
装具外来 (リハビリ科)	植村/倉片/竹内 (13:00~)					予約制
禁煙外来		岡 田 (午前11:30~)		岡 田 (午前11:30~)	岡 田 (午前11:30~)	予約制

※循環器科、泌尿器科、皮膚科、精神科については、一般外来を行っておりません。

受診予約のご案内

○地域医療連携枠を利用した予約方法(医療機関からの患者紹介)

村山医療センターホームページ(<http://www.murayama-hosp.jp/>)より、
「医療関係者の方へ」→「紹介患者さん予約方法」をご参照下さい。

※不明な点等は、地域医療連携室(042-561-1254)へお問い合わせ下さい。

○一般の患者さんの初診予約方法

①村山医療センターホームページ(<http://www.murayama-hosp.jp/>)より、
「オンライン初診予約」がご利用いただけます。

②電話予約(受付時間 平日 13時から17時)

初診予約電話番号 042-561-1698(直通)・042-561-0965(直通)

※不明な点等は、②の初診予約電話番号にお問い合わせ下さい。